

一般質問通告内容

(令和7年定例会9月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
8	貳又 聖規 (議席番号 10番)	1. 魅力と活力にあふれ、賑わいが生まれる産業のまちについて (1) 魅力ある観光地の形成について ① 地域DMOである(一社)白老観光協会の旅行業登録に向けた進捗状況を伺います。 ② 令和6年度に実施した観光庁補助事業「欧米豪層をターゲットとした地域の魅力滞在コンテンツ造成事業」による、令和7年度への効果と課題を伺います。 (2) 訪れやすいまちづくりの整備・充実について ① 白老駅への「おもてなし看板」の設置や観光案内標識整備の進捗状況を伺います。 ② 白老駅ではICカードが利用できず、観光客や町民に不便をかけているが、利用者の声に基づく実態把握調査と、導入に向けた町の要望等の進捗状況について伺います。 (3) 新たな誘客への取組について ① 本町における過去5年間の教育旅行の受入れ実績を伺います。 ② アドベンチャーツーリズムの3要素(自然体験・アクティビティ・文化交流)の事業者の態勢(準備状況・対応力)について伺います。 ③ アドベンチャーツーリズムの受入窓口整備について伺います。 (4) 特性を生かした観光振興について ① 文化庁が進める「文化観光拠点計画」の策定に向けた町の検討状況を伺います。 ② モデル地域と位置づけられた場合のメリットをどのように捉えているか伺います。 ③ 仙台藩白老元陣屋資料館の活用により、観光振興と文化保存の好循環創出をどのように考えるか伺います。 ④ 文化観光振興法に基づく地域計画の活用と、自治体と旅行会社との協定による地域経済活性化についての町の見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
8	貳又 聖規 (議席番号 10番)	2. 白老東高校の存続に向けた方針について (1) 町内中学校からの進学率の現状と改善策について 町内中学校卒業生の白老東高校進学率は、近年約3割で推移している。高校存続に向けた大きな指標であるこの数値を、町としてどのように改善しようとしているのか、具体的な取組と効果を伺います。 (2) 高校の特色化（国際理解・ウポポイ連携等）の可能性について 全国に類を見ない地域資源であるウポポイや国際理解教育を取り入れた特色ある学科・教育プログラムの導入について、町として北海道教育委員会等に働きかけや検討を行っているのか伺います。 (3) 将来ビジョンについて 人口減少の中で高校の存在は町の活性化に直結します。単なる魅力化支援にとどまらず、10年後の町の姿を見据えて白老東高校をどのように位置づけるのか、明確なビジョンを伺います。 (4) 地域協働コンソーシアムと町の役割分担について 白老東高校の魅力化は、学校側・コンソーシアムの取組に依存している印象を受ける。町として受け身ではなく主体的に関わる姿勢をどのように打ち出すのか、その考えを伺います。 (5) 全国・海外からの生徒受入れを視野に入れた戦略について 少子化により地元進学者数の増加だけでは限界がある。全国から、さらには海外からも生徒を募る特色校づくりや留学生受入れの可能性について、町の考えを伺います。 答弁を求める者 教育長